

「日本一の安代りんどう」が100年以上続くように

岩手大学大学院連合農学研究科博士課程修了
令和元年度岩手大学学生表彰奨励賞
第136回講演会日本育種学会優秀発表賞

高村 祐太郎 さん

たかむら・ゆうたろう 29歳



平成3年生まれ。22年に岩手大学農学部に入學し、卒業後同大学院に進む。修士2年、博士4年と農学研究科に在籍し、研究に打ち込む。大学時代はサイクリング部に所属も、現在は車が趣味で休日のドライブが息抜き。座右の銘は「継続は力なり」。

市役所花き研究開発センター

で市オリジナルりんどう品種を開発している高村祐太郎さんが、岩手大学大学院連合農学研究科博士課程を修了し、同大学生表彰で奨励賞を受賞した。全国から研究者が集い、研究成果を発表、論議する第136回講演会日本育種学会で、リンドウの染色体を効率的に倍加する方法を発表し、優秀発表賞を受賞したことが評価された。

平成28年に同大学院修士課程を修了し、市役所の職員に。入庁後も専門分野の知見を深めたいと、勤めながら博士課程で4年間、リンドウの育種技術に関する研究に打ち込んだ。毎週月曜日のゼミ、平日の夜と土日に実験や論文の執筆。仕事との両立は難しく「計画の半分しか実験ができないこともあったが、研究がリンドウの育種発展に必要だと強く感じていたし、職場や大学院教授、リンドウ生産者、家族などの支えがあったから続

けられた」とほほ笑む。

安代で生まれ育ち、小学校の総合学習でリンドウに興味を持った。幼いころから昆虫や植物が好きで、農業に関わる仕事をしたいと思っていた高村さんには「日本一の安代りんどう」に貢献できる現在の仕事は魅力的だった。

昭和47年設立の安代町農協花き園芸生産部会(現・JA新いわて八幡平花弁生産部会)が、来年50周年を迎える。先輩方の苦勞の末、安代りんどうは現在日本一の生産量を誇る。高村さんの目標は「日本一の安代りんどうが100年以上続いていくこと」。株持ちが良く、病害虫耐性のある品種の育成と仏花以外の新しい需要の開拓が必要と考え、他機関との共同研究も積極的に取り入れたいと向学心に燃える。基本に忠実に「現場をよく見ること、よく学びよく考えること、よく手を動かすこと」を心に刻み、安代りんどうに情熱を注ぐ。

【広告】

岩手県北バス

バス運転士になりませんか?

岩手運転士 女性運転士 活躍中

岩手県北自動車株式会社 八幡平営業所 八幡平市大更18-88-99

お問い合わせ TEL.019-641-7772(本社)

■編集後記

▽300号企画でインタビューに協力してくれたはおすきの会には、ただただ頭が下がる思いです。記事には盛り込められなかったですが「会員を募集している」とのことでしたので、この場を借りて紹介します。興味のある方は毎年冬に開催の朗読を楽しむ姿に足を運んでみてはいかがでしょうか。▽田頭小の建設業体験学習の取材をしてきました。建設機械の迫力に、初めはおっかなびっくりしていた子どもたちですが、自分で運転したり、友達の運転を見るうちに皆笑顔に。大盛り上がりでした。働く乗り物、カッコイイんですよ。「私も乗ってみてほしいですか」と言いそうになりました。